

支援金算定申告書

1 売上減少率等

（単位 円、％）

	申請対象期間の売上高	比較期間の売上高	減少率	差額
対象期間	2022 年1～3月	年	$(B - A) / B \times 100$	$B - A$ ※千円未満切捨
1月	円	/	/	/
2月	円			
3月	円			
合計売上額	円	年間売上額	C	D
月平均売上額	A 円	B 円		

注 C欄の減少率は小数点以下を切り捨てること。



C欄が20%以上である。

該当する区分に☑を付けてください。

<input type="checkbox"/>	法人	（上限額）200,000円
<input type="checkbox"/>	個人	（上限額）100,000円

D欄 差額と左表上限額のうち低い方を記入してください。

基本額(E)	
--------	--

2 加算額計算（対象業種に☑を付けてください。）

☑	区分	計算式	加算額
<input type="checkbox"/>	以下の①～⑦以外の業種	加算なし	円
<input type="checkbox"/>	① 宿泊事業者	10,000円 × 室	円 ※上限50万円
<input type="checkbox"/>	② タクシー事業者	50,000円 × 台	円 ※上限50万円
<input type="checkbox"/>	③ 運転代行業者	50,000円 × 台	円 ※上限50万円
<input type="checkbox"/>	④ 旅行者	一律 200,000円	円
<input type="checkbox"/>	⑤ 貸切バス事業者	100,000円 × 台	円 ※上限50万円
<input type="checkbox"/>	⑥ 市内飲食店直接取引先	一律 100,000円	円
<input type="checkbox"/>	⑦ 時短要請対象外飲食店	一律 100,000円	円
加算額合計 (F)			円

注 ①については部屋数、②③⑤については保有台数を記入してください。

3 支援金申請額

差額(D)	基本額(E) + 加算額合計(F)	給付額(G)
円	円	円

差額(D)と基本額(E) + 加算額合計(F)の
いずれか低い金額

鹿屋市長 中西 茂 様

令和 年 月 日

上記の申告書は事実と相違ありません。

住 所
事業所等(屋号)
代 表 者 名

